

レ これまでの事業の拡充

新 新たな事業として検討するもの

注) いずれの項目も必ずしも計画に盛り込むことは想定していない(費用面やその他影響を考慮して実現可能かを検討するものとして列挙)

1 全般

| 項目 | 内容 | 検討の方向性 | 委員会 |
|---------------|---|--|-----|
| 計画名 | ・計画名の整理 ・副題の表現方法検討 | 内部検討 検討委員会 | ① ④ |
| 目的(目指す姿)・基本目標 | ・「市民生活の安全確保」「生物多様性の保全」「ヒグマとの共生」の整理 ・目指す姿と基本目標の設定 | 内部検討 検討委員会 | ① ④ |
| 位置づけ | ・札幌市まちづくり戦略ビジョン、他の計画との関係性整理 | 内部検討 | |

2 出沒対応

| 項目 | 内容 | 検討の方向性 | 委員会 |
|--|--|---|-----|
| 出沒時の体制 | ・ヒグマ対策本部の設置 ・庁内各部署の役割整理 | 内部検討 関係機関との協議 | |
| 関係機関との連携 | ・出沒時の情報共有のあり方を整理(特に夜間、祝日の連絡手法) ・机上訓練の検討 | 内部検討 関係機関との協議 | |
| 関係自治体との連携 | ・振興局単位の情報共有方法の模索 ・通常時の情報共有方法の検討 ・出沒マップの共有を検討 | 関係機関との協議 | |
| 連絡系統図の見直し | ・実際に活用できる連絡系統図の構築(連絡網、連絡フローのようなもの?) | 内部検討 関係機関との協議 | |
| 段階フローの見直し | ・(道管理計画の改定内容による) ・札幌市の特性に合わせたフローを検討 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ① ③ |
| 基本行動マニュアルの見直し | ・各主体が何をするのかを明確化 ・ゾーニングの整理 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ① ③ |
| 市民への情報発信方法 | ・SNSの発信手法・広報車の活用を整理 ・新たな広報ツールの模索 | 内部検討 検討委員会 | |
| 技術者人材育成 | ・北海道の「ヒグマ対策技術者人材育成のための捕獲」事業に継続参加 | 関係機関との協議 | |
| 迅速な捕獲体制構築 | ・箱わな設置候補地の事前選定 ・麻酔による止めさしの検討 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ② |
| 新 追払い手法の検討 | ・ヘアドッグの導入可能性調査 ・その他手法の検討 ・周辺自治体、北海道等との協議 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ③ |

3 市街地侵入抑制策

| 項目 | 内容 | 検討の方向性 | 委員会 |
|---|---|---|-----|
| レ 河畔林下草刈り | ・地域主体での草刈りの継続・拡大 ・市主体での草刈り(委託)の検討 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ① |
| 放棄果樹伐採 | ・働きかけの継続 | | |
| レ 電気柵貸出・購入補助 | ・全区への対象拡大 ・貸出用電気柵の追加購入の検討 | 内部検討 | |
| 新 ICT技術を用いた対策 | ・AI搭載の自動撮影カメラの導入検討 ・ドローンを使った調査の検討 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ② |
| レ 市街地周辺での生息調査 | ・現状継続 ・周辺自治体を含めた広域での調査検討 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ② |
| 新 出沒個体の行動把握 | ・被毛等からのDNA採取、解析 ・GPS、学習放獣の実現可能性調査 ・周辺自治体、北海道等との協議 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ③ |
| 新 ヒグマ対策としての森林整備 | ・札幌市の森林整備事業との連携 ・候補地となる場所の選定・検討 | 内部検討 関係機関との協議 検討委員会 | ③ |

4 普及啓発

| 項目 | 内容 | 検討の方向性 | 委員会 |
|--|--|---|-----|
| 痕跡探しバスツアー | ・継続 | | |
| レ ヒグマ講座、出前講座 | ・全区への拡大 ・動画の作成、DVD化や配信手法を検討 | 内部検討 | |
| 教育機関との協働 | ・教育委員会等との連携(教材、授業等) ・草刈り、電気柵設置の体験 | 内部検討 関係機関との協議 | |
| 職員研修 | ・継続 ・庁内外の連携確保の場 | 内部検討 関係機関との協議 | |
| レ パネル展 | ・各区役所実施している現状の検証 ・チカホ、ショッピングモール等での実施を模索 | 内部検討 関係機関との協議 | |
| 新 ヒグマハザードマップ | ・作成方法の検討 ・作成に必要なデータの収集 | 内部検討 検討委員会 | ② |